



相馬市・松川浦の復活をめざす

津波で姿を変えた観光名所・松川浦

福島県浜通り地方北部に位置する相馬市。同市には、一九五一年に県立自然公園に指定された松川浦があります。松川浦は、太平洋に注ぐ宇多川と小泉川の河口に位置しており、その河口部の入り江が長さ約七キロメートルにわたる砂州によつてせき止められてできた潟湖。海水と淡水が入り混じる汽水域のため、特有の生物が生息し渡り鳥も飛来する生物多様性の豊かな場所です。砂州の上には車道があり、松川浦と太平洋の景色を同時に楽しむことができる観光名所でもありました。

二〇一一年三月十一日、大津波は砂州を分断し松川浦まで到達。岸壁に建っていた水産物直売センターをはじめ、ホテルや旅館など



▲相馬市松川浦観光振興グループ事務局長を務める
「ホテルみなとや」の菅野貴拓さん

海岸沿いの建物は大きな被害を受けました。松川浦の太平洋開口部に架かる地域のシンボル的存在の松川浦大橋は津波に耐え残つたものの、現在、一般車両は通行止めになっています。「観光名所だった砂州の道路が防波堤の役割を果たし、津波の威力を少し弱めてくれたんです」。そう振り返るのは「ホテルみなとや」の菅野貴拓さん。すぐ目の前に松川浦が広がる同ホテルも津波の被害に遭いました。

相馬市松川浦観光振興グループ結成の意義

「相馬市松川浦観光振興グループ」は、菅野さんの経営する「ホテルみなとや」と同じように、被災した飲食店やホテル、旅館、小売など二十七の事業者が加盟する団体。「福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業」による補助金の交付を受けるために結成されたのが始まりです。「地震と津波、福島第一原発事故に伴う風評被害によつて

再開の目処がたたず、補助金のことを知るまでは廃業すら考えていた事業者もいたんですね」と管野さん。

旅館やホテルは早期に事業を再開することによって、復旧工事関係者の利用を売り上げにつなげることができます。「実際、東北電力原町火力発電所などの復旧工事は、地元の宿泊施設にとつてはありがたいことでした。同時に、宿泊される作業員の方を通じて原町火力発電所の復旧を近くで感じられ、励みになりましたね」と管野さん。一方で、小売や飲食店は観光客が見込めないことから再開が難しい状況にありました。

こうしたなか、補助金の交付が復興に向けて背中を押すかたちで、松川浦の被災事業者の方々は再生への道を模索し始めたのです。グループの事務局長を務める管野さんは、「震災前の松川浦に戻すためだけの復旧にとどまらず、地域の観光産業を成長させるための復興でなければ。グループの若手が中心となつて毎月会議を開き、どうすれば松川浦の明るい未来を築くことができるかみんなでアイディアを出しあつて、実現に向けた議論をしているんです」と、言葉に力を込めます。

※福島県中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業
東日本大震災および原子力発電所事故により甚大な被害を受けた地域を対象に、福島県が認定した中小企業等グループの復興事業計画について国および県が支援することにより、「産業活力の復活」「被災地域の復興」「コミュニティの再生」、「雇用の維持」等を図り、県内産業の復旧および復興を促進することを目的とした事業

本格的な漁港再開と復興への願いを込めて

まずはできることから始めよう。それは、

「松川浦が震災を乗り越え、復興に向け頑張っている」と発信すること。そこで企画されたのが「復興チャレンジ丼」のキャンペーンです。グループに加盟する旅館やホテル、飲食店十一軒が、海鮮丼や魚貝の天ぷら、うなぎ丼などの独自メニューを開発、各店自慢の一品として今年四月から提供を開始しました。食材は、現段階では県外産のものを使用しているとのこと。季節によって食材が変わることもありますが、復興チャレンジ丼としてのメニューは通年味わうことができます。

さらに、九月～十一月に第二弾として取り組



▲グループ代表、カネヨ水産の「お食事処 たこ八」は仮店舗で営業中。
秋の食彩祭では炙りサーモンとイクラを使った「秋の二色丼」を提供しました



▲ホテルみなとやの復興チャレンジ丼
「鯛づくし丼」



▲復興チャレンジ丼第3弾
「冬の食材」(亀谷旅館)

「できることなら相馬・松川浦産の食材で作りたいですね。松川浦は海の幸が豊富で、ズワイガニも日本海側の約半値で食べられる穴場スポットなだけに、冬の時期は県外からも多くのお客さんが来てくれていたんです」。管野さんのホテルは仲買の権利を持ち、市場から直接仕入れて料理を提供していただけに、試験操業で水揚げが制限されている現状に悔しさをにじませながら語ります。「松川浦漁港の水揚げは試験操業の現状においては、以前の十分の一しかありません。獲れる

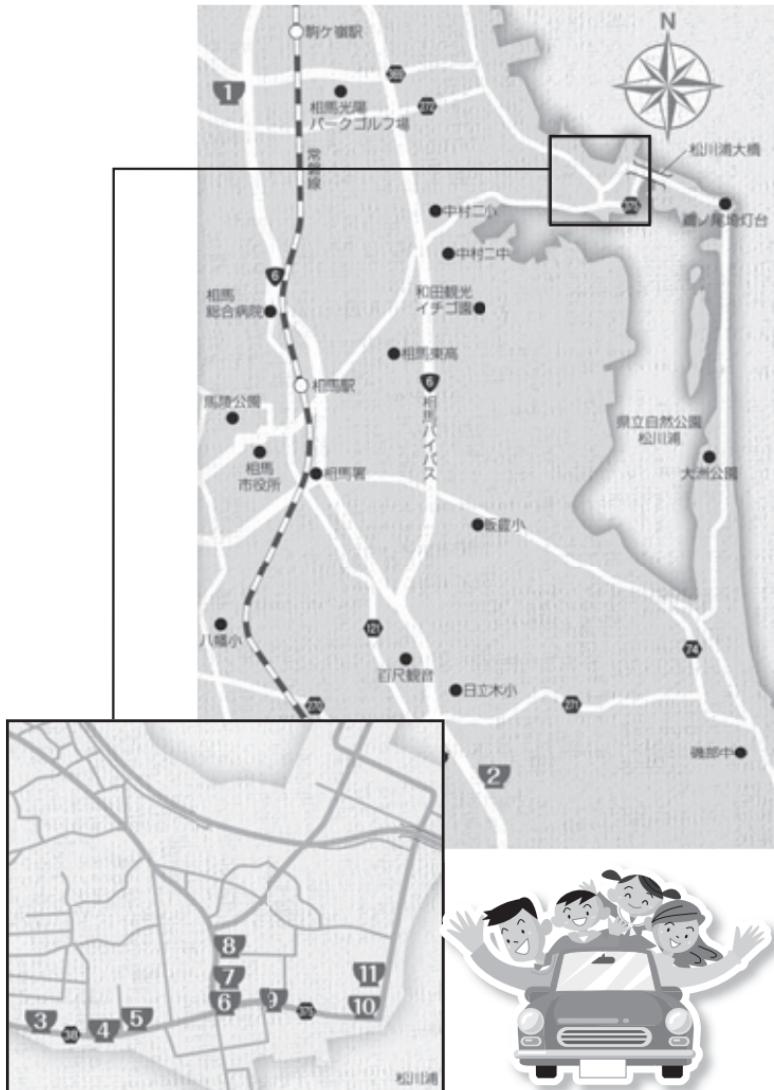
んだのが「秋の食彩祭in松川浦」。はらこ飯を中心には、相馬産の毛ガニなどが登場しました。なお、冬シーズンは一月から、各店が鍋料理で迎えてくれます。

魚の種類も決められているので、それ以外の魚が獲れても海に捨ててこなければならないんです」と管野さん。

相馬沖での試験操業は、新たにズワイガニとメヒカリ、ミキガレイが漁の対象に加えられ、現在十三種類となっています。水産庁のモニタリング検査の結果、放射性物質の数値に問題がないとして魚種の拡大が認められたものの、本格操業への道のりはまだまだ遠いのが実状。管野さんは「しばらく地元の鮮魚を扱うのは難しいので、松川浦の復興のためには、水産加工品の製造・販売など新たな松川浦ブランドを生み出す道も考えていかなければなりません」と話します。

相馬市松川浦観光振興グループでは、そうした新たな可能性について話し合い、相馬市に対して働きかけも行っています。「やはり、まず市としてどういう方向に復興を進めるのかを確認しなければ。たとえば加工品にしても工場はどうするのかという問題がありますから。グループとしてさまざまな提案はあるけれど、市の動きと合わせて全体で盛り上げていかないと。それに東京電力の賠償金に頼るだけでは根本的な解決にはなりません。自分たちで未来を切り拓こうという強い意志が必要です」と管野さん。松川浦の観光復興への想いは尽きることありません。

復興チャレンジ 松川浦 ACCESS MAP



1 お食事処
たこ八(仮店舗)

TEL.0244-26-3195

住 所 / 相馬市塚ノ部字善光寺2
営業時間 / 10:00~16:00
定 休 日 / 第2・4火曜日

2 市場食堂
割烹の宿 文字島(仮店舗)

TEL.0244-36-4111

住 所 / 相馬市日下石字鬼越迫101
営業時間 / 11:00~14:00
定 休 日 / 水曜日

3 ホテル喜楽荘
お食事処 壱㐂(いっき)

TEL.0244-38-7171

住 所 / 相馬市尾浜字平前55
営業時間 / 11:30~13:30
営業日 / 土、日、祝日

4 旅館 いさみや

TEL.0244-38-8216

住 所 / 相馬市尾浜字船越92-1
営業時間 / 11:00~14:00
営業日 / 土、日、祝日

5 亀屋旅館

TEL.0244-38-8153

住 所 / 相馬市尾浜字船越129
営業時間 / 11:30~14:30
営業日 / 土、日、祝日

6 民宿 扇や

TEL.0244-38-8472

住 所 / 相馬市尾浜字牛鼻毛78
営業時間 / 11:00~14:00
定 休 日 / 不定期

7 旭亭

TEL.0244-38-7327

住 所 / 相馬市尾浜字牛鼻毛66
営業時間 / 11:00~15:30
定 休 日 / 水曜日

8 手づくりの湯 栄荘

TEL.0244-38-8126

住 所 / 相馬市尾浜字牛鼻毛64
営業時間 / 11:30~20:00
定 休 日 / 不定期

9 齋春商店

TEL.0244-38-8108

住 所 / 相馬市尾浜字牛鼻毛119-1
営業時間 / 11:00~14:00
定 休 日 / 不定期

10 ホテルみなとや

TEL.0244-38-8115

住 所 / 相馬市尾浜字追川137
営業時間 / 11:30~14:00
営業日 / 土、日、祝日

11 おいかわ食堂

TEL.0244-38-6525

住 所 / 相馬市尾浜字追川33
営業時間 / 10:00~15:00
定 休 日 / 月曜日

みんなで
出掛けよう!